



湾岸・アラビア半島地域ニュース

サウジアラビア：メッカ・タイフ間に世界最大トンネルを建設

(8月23日付「アラブ・ニュース」紙)

1. メッカとタイフを結ぶ世界最大のトンネル建設がアブドラ国王の承認を得て開始される。本プロジェクトのコンサルタント・エンジニアであるタメル・フセイン氏は、「トンネルは長さ 11 キロメートル、高さが 8.7 メートルの 2 路線で、タイフのアル・ハリディヤから始まり、メッカに通じる高速道路に沿ったアル・カアルで終わる」と述べた。
2. このトンネルはアル・ハリディヤとアル・カアル間の移動時間を約 20 分短縮し、特に夏季とハッジ・シーズンの交通混雑の緩和に役立つものとなる。
トンネル工事の完成には 3 年の工期と 20 億サウジ・リヤルの工事費用がかかる。
3. タイフ州知事及びタイフ観光投資会社の関係者は 21 日、メッカ州知事のカーリド・ファイサル殿下に同トンネルのフィージビリティ・スタディを提出した。
メッカ州知事は、王室当局に本件の承認を求める前に、同プロジェクトを技術面及び財政面から検討する。
4. タイフ観光投資会社のアル・クレイ理事長は、「同社役員会は、同トンネル建設を行うために姉妹会社としてアル・ターリク投資・開発会社の設立を承認した。同社は、来月にも同スタディを商工省に提出する予定」と語った。